

東北地区 幹事 弘前大学

東北地区での活動や地区固有の問題点

担当幹事校 弘前大学

東北地区にはTOPIC(東北学術研究インターネットコミュニティ)があり、東北大学を中心に地区内の情報処理センター及び総合情報処理センターを持つ大学、各種短期大学、工業高等専門学校などが参加することで構成されている。現在までの参加組織数は95組織を数える。

東北地区での種々の活動は主にTOPICを通して行われている。以下では東北地区での活動としてTOPICで行なっている活動を報告する。

I. 東北地区での活動

(1). 講演会

昨年度は秋田、岩手で計4回(6月29日は秋田大学工学資源学部情報工学科で、7月31日は岩手県立産業技術短期大学校で、11月20日は「教育と地域の情報化を考えるシンポジウムin花巻」を花巻温泉で、また1月28日は岩手大学一祐会館)開催された。

(2). セミナー

昨年度は宮城、秋田で計3回(「電波利用ネットワーク接続とキャンパスネットワーク」:2月28日、東北文化学園大学、「地域の情報化を考える」:3月15日、秋田大学工学資源学部情報工学科、「ネットワークの安全対策」:3月22日、東北大学工学部)開催された。

(3). ネットワーク担当職員研修会

各組織のネットワークを担当している職員を対象として実施され、昨年度は秋田県たざわこ芸術村で開催された。

(4). 学会活動支援

TOPICでは、東北地区における学会活動を支援するために、TOPIC用のサーバを利用して学会支部などの広報などが行えるよう、便宜を図っている。現在、以下の5団体の活動支援を行なっている。

- ・計測自動制御学会東北支部
- ・電気学会東北支部
- ・情報処理学会東北支部
- ・日本エム・イー学会東北支部

・土木学会東北支部

(5). TRIX (東北地域内インターネット相互接続実験)

TRIX では TOPIC 及び 東北地区の商用インターネットを相互に接続し、トラフィック的に東北地域内に閉じた相互接続を行う場合の問題点について実証的な手法を用いて研究を行なっている。詳細に関しては以下の URL を参照されたい。

<http://www.topic.ad.jp/document/trix-ann-j.html>

<http://www.tia.ad.jp/trix/>

(6). その他

この他に、必要に応じて NOC 担当者会議、TOPIC 幹事会が開催されている。また、JPNIC の総会など国内で開催される諸会議に代表者を派遣し、内容報告を TOPIC 参加機関に行なっている。

II. 地区固有の問題点

1. TOPIC 内で SINET ノード校が複数あることによる経路集約が難しいこと、
2. 学内でネットワークの運用や管理を行うスタッフが不足していること、
3. 地方の地元のネットワーク等のサポート業者にはスキルがあまり高くないものが多いこと、
4. SINET のノード機器の光熱料の負担とスペースの確保について共に難しくなってきたこと。